

## 第2期磐田市スポーツ推進計画(案)に対する意見募集の結果について

1 募集期間: 令和7年12月18日(木)～令和8年1月19日(月)

2 提出状況: 6件(4名)

3 意見内容とそれに対する考え方

No.	項目	意見内容	考え方
1	P.22	スポーツと共創という点でスポーツと動物特に犬を絡めても面白そうだと考える。 磐田市はしっぺい太郎を市のマスコットキャラクターに置きつつも犬が主になるケースが多くないと思う。実際に色々な課題として犬がメインになることは難しいと思うが、共創という点においてスポーツ×ペット(犬)は可能だと思う。 具体的にはジュビロマラソンで犬と一緒にマラソンを試みるや、今之浦公園を使用したフリーマーケットと犬をコラボさせたイベントなども面白そうである。近年犬の需要は高く自身も犬を飼っているため犬肯定派の意見にはなるが是非どのような形であれ犬が大きく取り上げられても良いようなイベントや日常を希望する。	スポーツを身近なものとして捉え、多くの方に興味・関心を持っていただけるよう、新たな取り組みを検討していきます。
2	計画全体	全体的にすばらしいと思いますが 市民の立場には立ててない箱物のプランだと思います  なにも基盤もないままのスポカルへの移行、今だに内容すらわからない不安を抱える保護者がいっぱいいますよ、指導者もないのにどうやってスポーツをやれとスポーツの街というのは聞こえがいいしプロチームもありますが子供たちを置いてきぼりのぶらん 学府かされ体育館はほとんど閉鎖され目標も奪われていくでしょうもう少し足元を、見てください	令和8年9月より、休日は学校部活動を実施せず、地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」に移行します。部活動に代わる、中学生の新たな活動の環境を準備しており、全ての部活動種目についてクラブを開設できる見通しです。また、部活動にはなかった種目はすでに活動を開始しており、今後も種目数(クラブ数)は増えていくと想定しています。子どもたちが自分のやりたいことに挑戦できる場となるよう、努めていきます。今後も地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」について、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。
3	P11 スポーツ施設の再編整備	町の規模感が違うので完全な真似というわけでは無いが、長崎スタジアムシティやエスコンフィールドを見本としたスポーツとの共創、協創。試合がない日も楽しめる施設。 御厨駅、うさぎ山公園周辺	スポーツ施設の再編整備については、スポーツ施設ごとに長寿命化をするのか、総合スポーツ公園や機能別に再編をしていくのかなどと併せ、再編の手法についても検討を進めています。 ご意見でいただいたような先進的な事例も参考に、国や県、民間との連携を模索しながら、共創による施設整備を進めていきたいと考えています。
4	P.12 第4章1-1	土日に子どもがのびのびと体を動かせる室内施設を作してほしい。 夏場や冬の風の強い日はとても外では遊べず、運動不足になりがち。 小学校の体育館など公的施設を借りやすいようにすること(ネットで施設ごとではなく、日毎に全体検索できるようにしてほしい)と並行して、新しい施設も是非検討してほしい。	【新たな施設の検討について】 施設の管理状況や利用状況等を考慮し、快適に誰もがスポーツに取組めるよう、スポーツ施設の再編整備について検討していきます。  【公共施設の予約検索について】 磐田市公共施設予約システムでは、利用希望日を選択し、全施設の空き状況を検索することができます。ご活用ください。
5	P.20 第4章3-2	子連れでスポーツ観戦(ラグビーやサッカー)をしたいけど、何時間も外、しかも屋根なしはきつい。 せっかくプロスポーツクラブが身近にあるのに利用しにくい環境。 有料でもいいので、隣接した屋根付きの休憩所やフードコートなど試合前後および試合中にも休憩できる場所を設置してほしい。 または子連れで参加しやすいカジュアルな雰囲気のパブリックビューイングなどを市役所や子育て支援センターで行うのはどうか。	ヤマハスタジアムは民間施設のため、市としてハード面での対応は難しい状況です。 ホームタウンチームを市民一体となり応援する意識を醸成するべく、令和7年度は計6回磐田市主催でのパブリックビューイングを磐田商工会議所で開催しました。 様々な理由により現地に足を運べないサポーターに向けた取り組みを、チームと共に考えていきます。
6	P.22 第4章4-1	妊娠中や乳児の育児中は、時間はたっぷりあるが、孤独を感じるが多かった。 マタニティヨガやベビーマッサージ、子どもが動けるようになってからは、ハイハイレースや親子で参加する体操やダンス、子どもの短距離走などイベントを多く開いてスポーツをする人、そして場所との接触の機会を増やしてほしい。 一度参加したらイベントや会場の利用も継続しやすいので、時間はあるが、あまり予定がない産前産後のチャンスを活かしてほしい。 妊娠さんだけでなく、配偶者や両親、親戚そしてこどもを含めた家族ごとスポーツ習慣に巻き込む機会になると思う。 またイベントの様子が分からないので、写真や参加人数など公表してほしいし、現在の年齢の人がどのくらい参加予定なのか、参加の後押しとなるような情報発信をしてほしい。 参加は電話ではなくWEBからの予約にしてほしい。	市内の交流センターや子育て支援センターにてマタニティヨガやベビーマッサージなど親子向けの運動教室を開催しております。 イベントや教室を通じて様々な年代の方がスポーツに取り組み、運動習慣定着のきっかけとなるよう、今後も多様なイベントの開催を検討していきます。